

聴診器を使ってヤギの
心音を聴く児童＝美濃
加茂市伊深町、伊深小
学校



ヤギの心音聞こえた

伊深小児童、命の大切さ学ぶ

聴診器で聴き比べ体験

美濃加茂市伊深町の伊深小学校で27日、命の大切さを学ぶ授業が行われ、1、2年生と特別支援学級の児童約25人が市内で除草活動をしているヤギと触れ合った。（佐竹直人）

同授業は情操教育の一環として、市教委などが実施。ヤギ除草隊を管理運営する農業生産法人「フルーシック」の渡辺祥二代表らがヤギ7頭を連れて来校した。児童たちは校庭でヤギに草を与えたり、聴診器を使ってヤギと自身の心音を聴き比べたりすることを体験。ヤギの心音に耳を澄ませた児童は「自分の心臓の音より、早くドクンドクンって音がした」と感心していた。

ヤギを研究している岐阜大学の学生や可茂保健所の職員らが、児童たちの質問に答えながら、動物の命の大切さを伝えた。